

2022年

7月28日, 29日

会場：京都テルサ

特別講演

神経内科医がみた
老化とTGF- β シグナル

砂田 芳秀

(川崎医科大学 神経内科学 教授, 副学長)

教育講演 1

老化によって脳の「固さ」が
変わる？<神経発生・再生と
メカノトランスダクション>

小曾戸 陽一

(Korea Brain Research Institute,
Neural Regeneration, Lab Head/Professor)

教育講演 2

ミトコンドリア代謝を
中心とした老化とがん免疫

茶本 健司

(京都大学 大学院医学研究科
免疫ゲノム医学 特定准教授)

大会長：西村 泰光

(川崎医科大学衛生学)

事務局：〒604-8856京都市中京区
壬生西大竹町24 (SAM学会事務局内)
Tel: 075-322-6272

E-mail: 37samres@gmail.com

学術大会HP: <http://37th.samrc.jp/>

大会長補佐：中野 正和

(京都府立医科大学ゲノム医科学)

事務局長：西岡 敬介

(京都府立医科大学感染病態学)

副事務局長：千葉 陽一

(香川大学医学部炎症病理学)



学術大会

第37回
老化促進モデルマウス (SAM) 学会



シンポジウム

モデル動物から考える
老化のpathophysiology
《ゲノム解析と遺伝子改変を介した
老化研究へのアプローチ》

① ゲノム編集による
SAM系統での遺伝子改変

吉田 知之

(富山大学 学術研究部 医学系
分子神経科学講座)

② 遺伝学的解析によるA β オリゴ
マー蓄積に関わるSAMP8記憶
学習障害責任遺伝子の同定

磯部 正治

(富山大学 先端抗体医薬開発センター 教授)

③ 個体の老化は制御できるか？

中西 真

(東京大学医科学研究所 癌・細胞増殖部門
癌防御シグナル分野 教授)

ワークショップ

「はじめてのSAM」

① SAM各系統の特徴概説および
自社データの定期報告

日本エスエルシー株式会社

② SAMP10の両系統における
脳機能の違いなどについて

海野 けい子

(静岡県立大学 茶学総合研究センター)